

令和元年度第1回契約監視委員会議事概要

日 時：令和元年6月11日（火）10：00～12：00

場 所：理化学研究所 東京連絡事務所

出席者：委員 野元 学二 （レックスウェル法律特許事務所 弁護士）
委員 辻 純一郎 （J&T 治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員、EPS ホールディングス(株)社外監査役）
委員 加藤 暢一 （加藤公認会計士事務所 公認会計士 国立大学法人東北大学経済学研究科会計大学院 教授）
委員 石井 康彦 （国立研究開発法人理化学研究所 監事）
委員 松尾 康博 （国立研究開発法人理化学研究所 監事）

説明者等：

筑波事業所 研究支援部 経理課 峯山調査役 斉藤課長 早田主査
横浜事業所 研究支援部 契約課 延課長 田浦副主幹、早瀬主査
神戸事業所 研究支援部経理課 黒田課長、原田嘱託職員、門前嘱託職員
東京分室 中井室長、有田室長代理
契約業務部 木村契約第1課長 中村契約第2課長、小池副主幹 安本副主幹、石川特別嘱託職員
産業連携部 産業連携推進課 辻上課長、福岡主査
科技ハブ推進課 永野課長 三木調査役、中山副主幹
医科学イノベーションハブ 小田連携促進コーディネーター
播磨事業所 研究支援部 契約課 岩下課長

事務局 監事・監査室 村上室長 日紫喜室員

議事概要：

1. 新任委員の挨拶、新委員長の選出、委員長代理指名

江戸川委員長が平成30年度末で退任。新たに委員に就任された公認会計士の加藤先生から新任の挨拶の言葉を頂いた。続いて、委員の互選により、弁護士の野元委員を委員長として選出し、委員長より、辻委員を引き続き、委員長代理に指名した。

2. 平成29年度個別点検契約のフォローアップ

平成29年度に行った個別点検契約のフォローアップ状況について、事前に得た回答をもとに、契約履行（検収）状況・結果、次期契約時の措置状況等について報告を受けた。

3. 平成30年度第4四半期締結の契約点検（リスト点検）

平成30年度第四半期に締結にした契約678件の一覧表についてのリスト点検を行った。対象となる契約（物品の購入、役務の提供、工事、賃貸借）の抽出基準額について、改めて確認した。

4. 平成30年度第4四半期締結の契約点検（個別点検）

平成30年度第4四半期に締結した契約の一覧表から委員が選定した、本部及び3事業所5案件（一般競争契約2件（役務1件、物品1件）、総合評価1件（物品）、競争性のない随意契約2件（役務2

件)について、総合評価の内容、金額の妥当性、予定価格の立て方、入札に至るまでのプロセスを検証した。抽出したこれらの案件は、高額契約案件、一者応札案件等である。

今後も同様に調達而努力をしていくことを要望するとともに、予定価格を実勢に近づける努力をすること、より広く同業他社からの入札を求める努力をすること、随意契約理由書には、どの部分が特許に当たるか明記すること、理研独自の視点から国民目線に沿った前払い金の検証が必要ではないかとの意見があった。

5. その他報告事項

「平成 30 年度調達等合理化計画」及び「令和元年度調達合理化計画」について

契約業務部契約第 1 課より、引き続き公正性・透明性を確保しつつ、自立的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む旨説明がなされた。

平成 30 年度計画については、計画の実施状況と自己評価（効果）を検証した。また、令和元年度計画のポイントのひとつとして、新たな随意契約方式の導入を検討し、特例随契を適用するための条件及び研究開発成果の早期発現につながるか等を検証する点が挙げられた。

6. 次回（第 2 回）契約監視委員会開催について

次回の令和元年度第 2 回委員会は、12 月中旬に行うこととした。

以上